

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検・評価結果報告書（令和元年度対象）

令和2年8月

上峰町教育委員会

目 次

<教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価の概要>	1
1 根拠法	
2 点検及び評価の内容	
3 点検及び評価の方法	
4 点検及び評価の経過	
5 今後の予定	
<教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価の結果>	2
1 上峰町教育委員会の運営及び活動状況	2
（1）上峰町教育委員会の運営状況	2
① 教育委員会	
② 教育委員会事務局	
（2）上峰町教育委員会の活動状況	4
① 教育委員会会議の開催状況と審議概要	
② 活動の状況	
・ 総合教育会議への出席	
・ 教育現場への訪問	
・ 視察・研修会等への参加	
・ 各種会議・行事等への出席	
2 令和元年度主な事業・取組の評価シート	8
（上峰まちづくりプラン後期分野別計画に掲げる主要施策及び主な取組）	
（1）教育課所管分	8
（2）生涯学習課所管分	16
（3）文化課所管分	24

＜教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価の概要＞

1 根拠法：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の内容

- (1) 令和元年度上峰町教育委員会の運営及び活動状況
- (2) 上峰まちづくりプラン後期分野別計画に掲げる主要施策及び主な取組

3 点検及び評価の方法

上峰町教育委員会の運営及び活動状況、主要施策及び主な取組について、実績並びに成果と課題等を取りまとめ自己評価を行った後、教育に関する学識経験者（重松隆氏：元小学校校長、元佐賀県教育センター研究員）からの外部評価。

4 点検及び評価の経過

- (1) 令和2年6月中旬～7月中旬 令和元年度主な事業・取組の評価シート作成
- (2) 令和2年6月中旬 学識経験者への外部評価の依頼
- (3) 令和2年7月中旬～下旬 自己評価の実施
- (4) 令和2年7月下旬～8月上旬 学識経験者による外部評価の実施
- (5) 令和2年8月上旬 点検評価報告書の作成
- (6) 令和2年8月下旬 臨時教育委員会により点検評価報告書の審議及び承認

5 今後の予定

- (1) 令和2年9月上旬 上峰町議会に点検評価報告書を提出
- (2) 令和2年9月上旬 点検評価報告書を上峰町教育委員会ホームページにて公表

＜教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価の結果＞

1 上峰町教育委員会の運営及び活動状況

(1) 上峰町教育委員会の運営状況

① 教育委員会

役職名	氏名	任期(当初就任年月日)
教育長	野口敏雄	H30. 4. 2~R 3. 4. 1 (H30. 4. 2)
教育長職務代理者	平川未代	H30. 4. 1~R 4. 3. 31 (H30. 4. 1)
教育委員	時津昌昭	H28. 4. 1~R 2. 3. 31 (H23. 6. 21)
教育委員	田中清美	H30. 10. 1~R 4. 3. 31 (H23. 12. 19)
教育委員	馬場紘彦	H28. 10. 27~R 2. 3. 31 (H24. 10. 27)
教育委員	平川利彦	H29. 4. 1~R 3. 3. 31 (H27. 4. 1)
教育委員	江頭千代美	H29. 4. 1~R 3. 3. 31 (H27. 4. 1)
教育委員	片渕賢司	H31. 4. 1~R 5. 3. 31 (H31. 4. 1)
教育委員	衛藤知子	H31. 4. 1~R 5. 3. 31 (H31. 4. 1)

令和2年3月31日現在

② 教育委員会事務局

課名	担当事務
教育課 (8人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育委員会の会議に関すること。 2 事務局、学校その他の教育機関の職員の任免、分限及び懲戒に関すること。 3 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出に関すること。 4 工事計画の策定及び教育財産の取得の申出に関すること。 5 教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。 6 教育財産の管理に関すること。 7 教育委員会規則の制定及び改廃に関すること。 8 請願、陳情書等の処理に関すること。 9 公告式に関すること。 10 公印の看守に関すること。 11 文書の收受、発送及び編さんに関すること。 12 学校給食に関すること。 13 児童及び生徒の就学に関すること。 14 その他の学校教育に関すること。 15 いじめを根絶する取組に関すること。 16 子ども安全パトロールに関すること。 17 放課後児童健全育成事業及び留守家庭児童健全育成事業に関すること。 18 その他の子どもの安全に関すること。

	<p>19 総合教育会議に関する事。</p> <p>20 前各号に掲げるもののほか、他係の所掌に属しない事。</p> <p>21 県費負担教職員の服務に関する事。</p> <p>22 県費負担教職員の研修及び福利厚生に関する事。</p> <p>23 県費負担教職員の任免、分限及び懲戒の内申に関する事。</p> <p>24 学級編制に関する事。</p> <p>25 教育内容及びその取扱いに関する事。</p> <p>26 教科書その他教材の取扱いに関する事。</p> <p>27 学校保健に関する事。</p> <p>28 学校安全に関する事。</p> <p>29 その他の教育指導に関する事。</p>
生涯学習課 (7人)	<p>1 社会教育機関の運営に関する事。</p> <p>2 生涯学習審議会委員の任命並びにそれらの会議に関する事。</p> <p>3 社会教育関係団体の指導育成に関する事。</p> <p>4 講座の開設及び討論会、講習会、研修会、講演会、展示会その他の集会の開催並びにこれらの奨励に関する事。</p> <p>5 社会教育資料の刊行及び配布に関する事。</p> <p>6 社会教育のために必要な設備、及び資料の提供に関する事。</p> <p>7 情報の交換及び調査研究に関する事。</p> <p>8 視聴覚教育に関する事。</p> <p>9 視聴覚ライブラリーに関する事。</p> <p>10 青少年育成に関する事。</p> <p>11 地域のおじさん、おばさん及び110番の家に関する事。</p> <p>12 命の大切さ、子どもたちの心を鍛える事業に関する事。</p> <p>13 子どもの悩み相談室に関する事。</p> <p>14 その他の社会教育に関する事。</p> <p>15 スポーツ振興審議会及びスポーツ推進委員会の委員の任命及びそれらの会議に関する事。</p> <p>16 体育スポーツ指導者養成及び体制の確立に関する事。</p> <p>17 体育スポーツ関係団体の育成に関する事。</p> <p>18 住民スポーツの生活化に関する事。</p> <p>19 スポーツ事故に関する事。</p> <p>20 スポーツ施設及び設備に関する事。</p> <p>21 前各号に掲げるもののほか、スポーツ振興に関する事。</p>
文化課 (8人) 図書司書 3人を含む	<p>1 文化財の保護に関する事。</p> <p>2 図書館に関する事。</p> <p>3 歴史資料の保管及び整理に関する事。</p> <p>4 文化及び芸術の向上に関する事。</p> <p>5 その他文化の伝承に関する事。</p>

令和 2 年 3 月 31 日現在

(2) 上峰町教育委員会の活動状況

① 教育委員会会議の開催状況と審議概要

会議種別	開催期日	主な審議事項
臨時会	H31. 4. 1	平成 31 年度教職員人事異動報告 平成 31 年度教職員辞令交付式の打合せ
定例会	H31. 4. 23	平成 31 年度教職員人事異動の概要 就学援助認定 消費税法改正に伴う施設使用料等改正の検討
定例会	R 1. 5. 28	条例・規則の改正審議 (上峰町中央公園多目的広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例など 8 条例) (上峰町公民館の設置及び管理運営に関する規則の一部を改正する規則など 3 規則) 就学援助認定 令和元年第 2 回 (6 月) 議会補正予算について 令和元年度主たる事業予算 (当初予算)
定例会	R 1. 6. 27	令和元年第 2 回 (6 月) 町議会報告 東部教育事務所上峰中学校訪問の反省 就学援助認定 令和元年度青少年育成地区懇談会の在り方について
定例会	R 1. 7. 23	令和元年第 3 回 (9 月) 議会補正予算要求事項について 上峰町民センターホール音響改修計画について 令和元年度青少年育成地区懇談会の総括 小・中学校からの 1 学期学校経営報告並びに協議
臨時会	R 1. 8. 27	H30 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価の結果に関する報告書について 補助金交付要綱の改正 (上峰町伝統文化等保存継承補助金交付要綱など 2 案) 令和 2 年度使用教科用図書の採択
定例会	R 1. 9. 25	規則改正の審議 (上峰町私立幼稚園就園奨励費補助金交付に関する規則の一部を改正する規則) 全国学力学習状況調査の結果報告 令和元年第 3 回 (9 月) 町議会報告 就学援助認定 H30 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価の結果に関する報告書について審議 放課後子ども教室の在り方について
定例会	R 1. 10. 29	コミュニティスクール導入に向けた協議 上峰町子ども子育て会議の報告 令和元年第 4 回 (12 月) 議会補正予算要求事項について

定例会	R 1. 11. 26	小学校校門付近改修計画について 令和2年度市町立小中学校教職員人事異動方針について 規則・要綱等の改正 (上峰町教育委員会公印規程、上峰町学校給食費補助金 交付要綱、上峰町英語検定料補助金交付要綱)
定例会	R 1. 12. 17	令和元年第4回(12月)町議会報告 令和2年度当初予算における主な歳出について 上峰町教育委員会教育委員視察研修計画について 小・中学校からの2学期学校経営報告並びに協議
定例会	R 2. 1. 24	令和元年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果 上峰町要保護児童対策地域協議会委員の推薦 就学援助認定
定例会	R 2. 2. 28	小・中学校教職員管理職付議について 3月議会教育方針と次年度上峰町教育方針について 上峰町立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針 について 令和2年度当初予算における主な歳出について 新型コロナウイルス感染症対策に係る臨時休業について
定例会	R 2. 3. 27	就学援助認定 小・中学校からの年度間学校経営報告並びに協議 規則の改正 (上峰町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則) (上峰町太古木等検討委員会規則の一部を改正する規則) (上峰町史編さん委員会規則の一部を改正する規則) (上峰町青少年健全育成推進員設置規則) (上峰町住民スポーツ推進指導員設置に関する規則の一部を改正する規則) (上峰町公民分館長の設置に関する規則の一部を改正する規則) (上峰町公民館の設置及び管理運営に関する規則の一部を改正する規則)

② 活動の状況

ア 総合教育会議への出席

開催期日	協議事項
第1回総合教育会議 R 1. 10. 2	上峰町立学校の不登校の現状と課題について (小・中学校長からの説明と今後の対策について協議) → 適応指導教室の設置及び運営の方向性を確認

イ 教育現場への訪問

期 日	訪問先	期 日	訪問先
H31. 4. 20	小学校オープンスクール	R 1. 11. 16	中学校授業参観高校入試説明会
H31. 4. 21	中学校オープンスクール	R 1. 11. 18	中学校道徳公開授業研究会
R 1. 5. 11	小学校リレーカーニバル	R 1. 11. 27	東部教育事務所小学校訪問
R 1. 6. 8	小学校オープンスクール	R 2. 1. 24	かみみね幼稚園訪問
R 1. 6. 25	東部教育事務所中学校訪問	R 2. 3. 7	上峰中学校卒業証書授与式
R 1. 7. 23	ひよこ保育園訪問	R 2. 3. 17	上峰小学校卒業証書授与式
R 1. 9. 25	ひかりこども園訪問	R 2. 3. 20	ひかりこども園卒園式/来賓なし
R 1. 11. 10	小学校日曜授業参観 上小祭	R 2. 3. 21	かみみね幼稚園卒園式/来賓なし

ウ 視察・研修会等への参加

期 日	視察先・研修会名
H31. 4. 22	佐賀県教育委員会・市町教育委員会協働会議
H31. 4. 26	佐賀県市町教育長会連合会春季定期総会・研修会
R 1. 5. 8～ 5. 10	全国町村教育長会定期総会・研究大会
R 1. 6. 3	佐賀県市町教育委員会連合会役員会
R 1. 7. 5	佐賀県市町教育委員会連合会定期総会・研修会
R 1. 7. 9	三神地区教育委員会連絡協議会総会・研修会
R 1. 7. 22	県・市町教育長地区別意見交換会
R 1. 8. 23	県・市町教育長意見交換会
R 1. 10. 30	佐賀県市町教育長会連合会秋季総会・研修会
R 2. 1. 27	三神地区教育委員会連絡協議会後期研修会
R 2. 2. 7～ 8	上峰町教育委員会視察研修（松浦市、平戸市）

エ 各種会議・行事等への出席

期 日	会議名・行事名
H31. 4. 1	教職員辞令交付式
H31. 4. 5	ひかりこども園入園式
H31. 4. 11	上峰小・中学校入学式
H31. 4. 13	かみみね幼稚園入園式
H31. 4. 13	老松神社春祭り
R 1. 5. 19	鎮西山ふれあいの森フェスタ（歩こう大会・トレイルラン）
R 1. 5. 19	三養基ライオンズクラブ結成 40 周年記念式典
R 1. 5. 23～24	日韓友好ヨジュ市青少年上峰町訪問事業
R 1. 6. 9	上峰町子どもクラブドッチビー大会
R 1. 6. 16	夢の教室 in 佐賀県上峰町～諦めなければ夢は叶う～
R 1. 6. 25	小学校学習田植え体験活動（稲文字「チームワーク」）
R 1. 7. 2	町青少年育成大会講演会「スロヴァキア国立オペラ」

R 1. 7. 2	町青少年育成地区懇談会（4大字別）
R 1. 7. 6～7	中体連三養基・神埼地区大会
R 1. 7. 7	分館対抗アジャタ大会
R 1. 7.12	中国蘭州市第五中学校DMO事業上峰中学校訪問
R 1. 7.23	全国ラジオ体操・みんなの体操会
R 1. 8.24～26	町青少年育成サマーキャンプ（NPO愛えん委託～三瀬）
R 1. 8.25	上峰町近圏少年剣道錬成大会（上峰中）
R 1. 9. 7	中学校体育大会
R 1. 9.14	ひかりこども園家族大運動会
R 1. 9.28	かみみね幼稚園運動会
R 1. 9.29	小学校体育大会
R 1.10.13	町民体力づくり体育大会
R 1.10.19～20	県民スポーツ大会（鳥栖市～三養基郡～神崎市）
R 1.10.26～27	米多浮立（神事～お下り～お上り）
R 1.11. 1	小学校学習田稲文字稲刈り
R 1.11. 2	中学校文化発表会
R 1.11. 1～3	上峰町民文化祭（3日演芸発表）
R 1.11.15	子ども議会
R 1.11.24	町体育協会創立50周年記念事業（スポーツラリー、記念式典、講演会）
R 1.11.30	上峰町旗争奪少年野球大会・クラブ創立45周年記念大会
R 1.12. 6	小学校5年生餅つき体験
R 1.12.14	NPO愛えん青パト出発式
R 2. 1.11	福岡ソフトバンクホークス野球教室
R 2. 1.12	第70回上峰町成人式
R 2. 1.26	上峰町社会福祉大会
R 2. 2. 1	上峰町スポーツ少年団フェスタ～アジャタ、心肺蘇生と止血法～

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	生きる力を育む教育活動の推進			
事業名 ・ 取組名	スクールカウンセラー配置事業			所管課	教育課			
				費目	事務局費			
事業費 (千円)	1,600	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
				350			1,250	

目 標	児童生徒一人ひとりが豊かな人間性を培い、生涯にわたって自ら学ぶ意欲を養うなど生きる力を育むとともに、国際的視野に立ち、進展する社会に創意を持って対応し、文化の創造や産業の振興など、社会や地域の発展に貢献できるよう、心身ともにたくましい子どもの育成に努める。
目的や内容	いじめや不登校等、生徒指導上の諸問題への対応は、学校において重要な課題である。 このため、児童・生徒の臨床心理に関して高度な専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを派遣し、もって学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。
実績等	小学校260時間、中学校220時間、スクールカウンセラーによる児童・生徒や保護者への相談活動、教職員への支援・助言、関係機関や地域の援助機関との連携等を行った。 対象者別件数 児童・生徒 98件、保護者 33件、教職員 85件 事業費内訳 県費補助事業 210時間 1,050千円 (小学校) 町費単独事業 110時間 550千円 (小・中学校) 県費負担事業 160時間 - (中学校)
成果と課題	不登校傾向や対人関係の問題についてのカウンセリングは継続も含め希望者も多く、また、問題改善の方向性も出るなど成果を上げた。 配慮を要する児童・生徒やその保護者については、ケース会議を実施するが、その中でスクールカウンセラーとの連携は重要な位置を占めており、スクールカウンセラーの助言は重要な示唆を与えてくれる。 スクールカウンセラーに繋がらないケースもあり、担任以外とはかかわりを持つことを好まない保護者の支援や保護者が相談に行きやすい時間の設定が引き続きの課題である。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	県費補助事業に加え、町費単独及び県費負担事業の加算により、案件内容を丁寧にカウンセリングすることができた。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	不登校傾向や対人関係については、カウンセリングを通して改善策がなされ十分達成された。 カウンセリングについては、利用者の理解と都合を考慮した時間設定が望ましい。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	生きる力を育む教育活動の推進			
事業名 ・ 取組名	特別支援教育就学奨励費補助 要・準要保護就学援助			所管課	教育課			
				費目	教育振興費			
事業費 (千円)	8,684	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
			739				7,945	

目 標	児童生徒一人ひとりが豊かな人間性を培い、生涯にわたって自ら学ぶ意欲を養うなど生きる力を育むとともに、国際的視野に立ち、進展する社会に創意を持って対応し、文化の創造や産業の振興など、社会や地域の発展に貢献できるよう、心身ともにたくましい子どもの育成に努める。
目的や内容	特別支援教育を要し、又は経済的な理由によって就学困難な児童又は生徒の保護者に対し、必要な援助を与えることにより義務教育の円滑な実施に資するため、次に掲げる費目を予算の範囲内で援助する。 (1)学用品費等、(2)校外活動費(宿泊を伴うもの・伴わないもの)、(3)修学旅行費、(4)新入学児童生徒学用品費、(5)医療費、(6)学校給食費
実績等	特別支援教育を要し、又は経済的な理由によって就学困難な児童又は生徒の保護者に対し、必要な援助を行った。 特別支援教育就学奨励費補助事業 小学校 30人 987,786円 (前年度 25人 907,712円) 中学校 9人 492,177円 (前年度 6人 343,145円) 計 39人 1,479,963円 (前年度 31人 1,250,857円) 要・準要保護就学援助 小学校 68人 4,550,068円 (前年度 56人 3,917,967円) 中学校 31人 2,653,623円 (前年度 31人 3,442,081円) 計 99人 7,203,691円 (前年度 87人 7,360,048円)
成果と課題	全児童・生徒の保護者宛に学校を通して、制度を知らせるチラシを配布することで制度の周知徹底を図った。認定に当たっても所得金額のみで一律に判断するのではなく、児童・生徒の日常生活及び家庭の諸事情について情報収集を行うとともに、申告による所得確定後に再度調査を行い認定の確定を行った。 認定にあつては総合的に判断して認定することとなっており、周知及び受付時において今後も丁寧な取り扱いを徹底する。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	全児童生徒の保護者への周知徹底により、広く制度を活用することができた。 認定においても、教育委員会で適切に審議が行えるよう詳細な資料の作成及び情報収集に努めた。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	特別支援教育を要する児童生徒は年々増加傾向にあり、義務教育の円滑な実施が図れるよう制度や体制の更なる充実を望む。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	生きる力を育む教育活動の推進			
事業名 ・ 取組名	小学校オンライン英会話委託			所管課	教育課			
				費目	先進的教育推進費			
事業費 (千円)	6,091	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							6,091	

目 標	児童生徒一人ひとりが豊かな人間性を培い、生涯にわたって自ら学ぶ意欲を養うなど生きる力を育むとともに、国際的視野に立ち、進展する社会に創意を持って対応し、文化の創造や産業の振興など、社会や地域の発展に貢献できるよう、心身ともにたくましい子どもの育成に努める。
目的や内容	初等教育段階からのグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学5、6年生の外国語活動の時間において、英語圏現地講師とのマンツーマンによるオンライン英会話授業を実施した。
実績等	小学校オンライン英会話は、6月から週1回、5、6年生を対象に外国語活動の時間にフィリピンの講師との15分間(年間で児童ひとりあたり10コマ)のオンラインによるマンツーマンの英会話学習を行った。
成果と課題	小学校においては、チューターとの学習の経験を重ねることで、英語の発音を聞く活動に慣れ、外国人に話すことへの抵抗が減ってきている。 既習の単語や言い回しを用いて、チューターとのコミュニケーションを取れるようになっており、日常英会話の基本的な表現を身につけた。中学生になったの佐賀県学習状況調査でも佐賀県の平均正答率を16ポイント上回る成績をおさめている。 上峰町立学校児童生徒の更なる英語力・コミュニケーション力の向上を期して、小中一貫したオンライン英会話授業の構築・実施を検討したい。

	評価の結果	評価の理由
自己評価	達成	小学校オンライン英会話での活動が自信となり、佐賀県学習状況調査では英語を含め佐賀県平均を大幅に上回ることができた。
	概ね達成	
	やや不十分	
	不十分	

	評価の結果	意見・指摘事項
学識経験者 評価	達成	小学校でオンライン英会話授業を参観した時、多くの児童の目が輝いていた。英語の発音を生で聞く活動、話す活動は大切であり、今後もぜひ続けて欲しい。
	概ね達成	
	やや不十分	
	不十分	

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	生きる力を育む教育活動の推進			
事業名 ・ 取組名	中学校放課後補充学習委託			所管課	教育課			
				費目	先進的教育推進費			
事業費 (千円)	6,297	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							6,297	

目 標	生徒の基礎学力の定着、苦手分野の克服、学習意欲の向上、個性や才能を伸ばす機会を提供することに努める。
目的や内容	本町立中学校生徒の基礎学力の定着、苦手分野の克服、学習意欲の向上、個性や才能を伸ばすため、中学1、3年生を対象に放課後時間において補充学習を実施するとともに、放課後を活用した学習塾、家庭教師及び文化・スポーツ教室等学校外教育サービスの利用にかかる助成を行う。
実績等	前年度からスタディクーポン使用の手法を取り入れた中学校の放課後補充学習においては、引き続き一人あたり3万円分の予算を確保し、学校における補充学習だけでなく、生徒が希望した塾や習い事等でクーポンが使えるよう事業者の登録を行った。
成果と課題	中学校の放課後補充学習は、学習意欲の向上につながり、苦手な部分を集中して取り組むことで理解の深まりにつながった。さらにスタディクーポンを使うことによって、生徒が希望する学習方法が選択でき学習意欲の向上につながった。 【中1】夏期講習37名、塾38名、習い事3名、未利用10名(88名) 【中3】冬期講習46人、塾36人、習い事0人、未利用 6名(88名) 未利用者は、希望の塾や習い事をリクエストをしたが、参画事業者としての登録に至らなかったため利用ができなかった。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	スタディクーポン方式も保護者の理解をいただき効率よく活用いただいた。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	スタディクーポンを活用した学習方法は、他の市町にはない特色である。学力向上だけでなく学習意欲向上やキャリアアップに繋がっており大きく評価できる。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	生きる力を育む教育活動の推進			
事業名 ・ 取組名	学校給食費補助 おいしい給食補助 学校給食調理業務委託			所管課	教育課			
				費目	事務局費、学校給食費			
事業費 (千円)	67,644	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							67,644	

目 標	児童生徒一人ひとりが豊かな人間性を培い、生涯にわたって自ら学ぶ意欲を養うなど生きる力を育むとともに、国際的視野に立ち、進展する社会に創意を持って対応し、文化の創造や産業の振興など、社会や地域の発展に貢献できるよう、心身ともにたくましい子どもの育成に努める。
目的や内容	学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものである。学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施により、学校給食の充実及び学校における食育の推進を図る。
実績等	学校給食及び食育の指導を次のとおり実施した。 ① 健康の保持増進のための適切な栄養摂取の必要性。 ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養う。 ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養う。 ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養う。 ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養う。 ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める。 ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導く。
成果と課題	栄養教諭を中心に、適切な栄養の摂取による健康の保持増進に努めることができ、残食も問題となるような量には至っていない。さらに、食物アレルギーに対して、児童生徒の個別の状況に応じて対応した。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	常に、異物混入防止に努め、さらに、学校給食の本来的目的である食育への取組について引き続き努力したい。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に資するものである。「健康づくりは食事から」という観点からも、更なる学校給食の充実及び学校における食育の推進をお願いしたい。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	教職員の資質の向上		
事業名 ・ 取組名	部活動指導員活用研究事業			所管課	教育課		
				費目	教育振興費		
事業費 (千円)	365	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				243			122

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種目ごとの専門的な指導による部活動の充実 ・ 顧問である教員の多忙化解消
目的や内容	<p>部活動指導員の活用を通して、技術指導の専門性を高めるとともに、顧問の「多忙化解消」、「時間外勤務時間の縮小」を目的とする。</p> <p>具体的には、部活動指導員の参加を前提に部活動計画を立てたり、部活動指導員と教員が交代で休業日を設けたりしながら、安全かつ効率的で効果的な部活動運営を確立する。</p>
実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野球部においては、顧問教員が活動計画を作成し基本的な部活動の運営を行った。部活動指導員は、顧問教員と相談の上、生徒個人やチームとしての課題の解決のため、生徒とともに練習内容を考え指導した。週末は、顧問教員とともに部活動指導員も練習試合や大会に参加し、登録コーチとしてベンチ内から技術的な指導や戦術面の考え方、チームとしての心構えなどを指導した。また、顧問教員や生徒とミーティングを行い、個人やチームの課題の確認を行った。 ・ 剣道部においては、顧問教員が活動計画を作成し基本的な運営を行った。部活動指導員は、生徒個人の技能向上、個別の練習内容を考え指導した。また、試合では審判員ができない顧問教員に代わり審判員を務め、顧問教員の負担を大いに軽減した。
成果と課題	<p>軟式野球部においては、部活動指導員の指導により生徒個人の技術の向上が見られた。また試合に勝つことだけを目的とせず、チームとして何が必要なかを常に考えて指導に当たっていただいたので、チーム力の向上が見られた。</p> <p>剣道部においては、部活動指導員の指導により生徒個人の技術の向上、チーム力の向上が見られた。生涯スポーツとして剣道を楽しんでほしいという思いで指導をされているので、生徒も剣道がこれまで以上に好きになっている。</p> <p>部活動指導員を導入することにより、平日の勤務では、学校や学年の各校務分掌の事務作業や会議の準備・参加などの時間確保につながった。また、休日の部活動指導の時間削減と指導を任せられることができる安心感は、教職員の多忙化や多忙感を緩和するにあたり、大きな効果があった。</p>

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	部活動の充実と、教員の多忙化解消の両面において効果が見られる。加えて、技術指導に関する顧問教員の不安軽減も図られており、十分に評価できる。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	部活動の充実に繋がっており、教員の負担軽減にも繋がりが成果が上がっている。今後も継続・拡充を願いたい。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

主要施策				学校施設・設備の整備充実			
事業名 ・ 取組名	防音関連維持事業 中学校体育館音響設備改修工事 小学校正門等改修工事測量・設計 業務委託料 小中学校トイレ洋式化工事			所管課	教育課		
				費目	施設整備費、学校管理費		
事業費 (千円)	57,561	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			8,580				48,981

目 標	学校施設・設備の老朽化や劣化への対応、小中学校トイレの洋式化を図るとともに、ICT利活用教育のための情報機器の充実、学校図書館の蔵書の充実など、設備や教材・教具の整備充実を図る。		
目的や内容	老朽化や劣化する学校施設及び設備について、適切な維持管理に努め安全安心な学校生活を提供する。 通年の維持管理に加え、小中学校トイレの洋式化など長期的な視点に立った施設設備の充実も推進する。		
実績等	<p>小・中学校の維持管理について、次のとおり実施した。さらに、小学校正門周辺の安全安心を確保するため、正門等周辺改修工事を推進すべく測量・設計業務を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防音関連維持事業(空調電気代助成) 5,373千円 ・中学校体育館音響設備改修工事 2,592千円 ・小学校正門等改修工事測量・設計業務委託 1,683千円 ・小中学校トイレ洋式化工事 47,913千円 <p>繰越明許(ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校北校舎空調設備整備事業 39,940千円 		
成果と課題	<p>中学校において平成29年度の多目的トイレの整備、平成30年度の階段昇降機設置工事に続き、トイレの洋式化を実施した。</p> <p>老朽化する小学校北校舎の空調設備について、平成30年度に、国のブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金の採択を受けることができた。議会の議決を得て予算を翌年度へ繰り越し、令和元年度に工事を実施した。</p>		

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	<p>小・中学校の施設・設備について、必要に応じ順次維持管理することが出来た。</p> <p>懸案であった小学校北校舎の空調設備については、国の臨時特例交付金による整備を行い、児童の学習環境が改善された。また、小中学校舎内のトイレの洋式化が完了した。</p>
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	<p>学習環境の改善・充実は、児童生徒の学力向上や心的安定に大きく影響します。これからも必要に応じて改善を進めてほしい。</p>
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	開かれた、信頼される学校づくり			
事業名 ・ 取組名	学校家庭地域の連携協力推進事業			所管課	教育課			
				費目	先進的教育推進費			
事業費 (千円)	138	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
				90			48	

目 標	学校・家庭・地域が連携協力し、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを促進する。
目的や内容	地域住民等の参画による様々な教育活動を行う地域未来塾は、基礎学力の定着と苦手分野の克服を図ることを目的に、学習の場を提供する。
実績等	地域未来塾について、中学校において年間を通して開設した。中学校全学年を対象に希望者に対し、毎週水曜日の放課後、1時間程度、タブレットパソコンによるドリル学習や学校の宿題等、自主学習を行った。
成果と課題	学習習慣の定着という点で学校の学習と家庭学習の橋渡しができた。また、こういう場を提供することで学習環境の整備に繋がっている。 課題として、放課後の時間を活用しているため部活動の兼ね合いで参加者が少ない。 家庭学習の重要性を推奨するとともに、自主学習の定着推進を図る。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	補助事業を活用し、学校・家庭・地域が連携しながら生徒の学習習慣の定着を目指して取り組むことができた。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	学習習慣の定着という点で、学校と家庭、地域との連携は重要である。お互いに切磋琢磨して連携協力を続けて欲しい。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

令和元年度主な事業・取組の評価シート				主要施策	生涯学習関連施設の適正管理・利用促進			
事業名 ・ 取組名	町民センターの管理・運営			所管課	生涯学習課			
				費目	社会教育施設費			
事業費 (千円)	60,162	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
						2,039	58,123	

目 標	住民一人ひとりが生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果をそれぞれの生活に生かすことができる生涯学習社会の実現を目指す。特に、すべての町民がニーズに応じて自主的に学習活動を行い、その成果が適切に評価され、自らの生活はもとより、地域社会へ還元される学習環境づくりを図る。
目的や内容	町民センターの適正管理及びサービスの向上に努め、利用促進を図る。町民センターの中央監視装置更新工事、空調設備改修工事、ホール音響設備改修工事を行い、施設的环境を整備する。また、施設の使用については、引き続き利用促進を図るために、丁寧な対応を行い気持ちよく利用して頂く。
実績等	町民センターについては、中央監視装置更新工事、201会議室から205会議室までの空調設備改修工事、スピーカーを8台設置する等のホール音響設備改修工事を行った。また、利用者が快適に利用するためにより丁寧な対応を行うことができた。利用者数は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、臨時休館したこともあり、平成30年度35,042名から令和元年度29,117名と減少した。 町民センターの一部屋(視聴覚室)を小中学生並びに高校生等の自主学習の部屋として提供し、令和元年度は157人の利用があった。
成果と課題	すべての町民が、安全・安心に利用できる環境づくりに向け、中央監視装置更新工事、空調設備改修工事、音響設備改修工事を行ったが、施設の劣化状況の把握や長寿命化に向けた個別施設計画を策定し、中長期的な維持管理を行う必要がある。ホールについては、令和2年度において、スピーカー等の設置台数を増やし、音響設備環境をより充実させて取り組む計画である。また今後についても町民が利用しやすく、人が集まる場所となるよう自主学習の部屋を含め施設利用の広報活動を行う必要がある。

	評価の結果	評価の理由
自己評価	達成	新型コロナウイルス感染症対策として、臨時休館したこともあり年間利用者数は減少したが、年度当初の計画どおり、町民センターの更新、改修工事が完了し、すべての町民が安全安心に利用できる環境づくりを推進することができた。
	概ね達成	
	やや不十分	
	不十分	

	評価の結果	意見・指摘事項
学識経験者 評価	達成	中央監視装置更新工事、空調設備改修工事、音響設備改修工事が実施できたことは評価できる。年度末は新型コロナウイルス感染予防対策で利用者数が減少したが、今後も人が集まる場所となるよう努力してほしい。
	概ね達成	
	やや不十分	
	不十分	

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	町民の自主的な学習活動の活発化		
事業名 ・ 取組名	ふれ愛・粋いきセミナー、女性セミナー(公民館教室)			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	321	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							321

目 標	住民一人ひとりが生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果をそれぞれの生活に生かすことができる生涯学習社会の実現を目指す。特に、すべての町民がニーズに応じて自主的に学習活動を行い、その成果が適切に評価され、自らの生活はもとより、地域社会へ還元される学習環境づくりを図る。
目的や内容	町民ニーズの動向や本町の特色・資源、社会・経済情勢の変化を踏まえ、特色ある講座・教室として、ふれ愛・粋いきセミナー、女性セミナー講座・教室を行い、「参加して楽しかった」「勉強になった」など、「参加して良かった」と言われるような取組を行う。
実績等	新型コロナウイルス感染症対策として、修了式は中止としたが、ふれ愛・粋いきセミナー、女性セミナー講座・教室を16回行い、延べ362名の参加があった。毎回好評の料理教室、相続・遺言と悪徳商法や交通安全・振り込め詐欺等の身近な啓発講座、地元内科医による健康教室、大分県豊後大野市の観光名所を視察するバス研修、九州龍谷短期大学教授によるコーラス教室など、様々な講座・教室を開催した。
成果と課題	ほぼ計画どおり年16回の講座や教室を行ったが、参加者の増加にはつながらなかった。今後については、内容を検討し、見直しを行いながら、町民のニーズに沿った講座や教室を行う必要がある。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	修了式は中止となったものの、ほぼ計画どおり年16回の講座や教室を開催することができた。参加者は430名から362名と減少しており、今後内容の精査・充実に努める必要がある。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	内容について計画どおりに実施できたことは評価できる。参加者の増加に向けては、募集案内の工夫など一工夫が必要かと思う。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート				主要施策	青少年健全育成		
事業名 ・ 取組名	青少年育成地区懇談会 (青少年育成町民会議事業)			所管課	生涯学習課		
				費目			
事業費 (千円)	0	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源

目 標	青少年が家庭や地域における人のつながりを大切にする心や人を思いやる心、命を大切にすることをもち、心身ともに健全に育つよう、家庭・学校・地域・行政等の連携強化のもと、各種の健全育成活動を積極的に推進していく。
目的や内容	地域のみinnで、子どもたちを守り育てるためにはどうすれば良いのかを考えるために、大字分館ごとに特に夏季休業を前に懇談会を開催し、子どもたちを巡る課題を共有し、地域住民の意識を高める。
実績等	前年度まで町内19分館にて開催していたが、令和元年度は7月2日(火)に大字4地区において開催した。参加者数は224名で、19分館開催時に比べて、役員や関係者を除き142名減少している。地域での子どもの過ごし方や地域の行事について話したり、危険な場所の確認、地域の大人と子どものコミュニケーションのとり方の検討など、いろいろな話し合いができ、子どもたちをどうやって地域で育てるかを考える懇談ができた。
成果と課題	年に1回、夏休み前に実施して、地域の子どもの育て方について考える機会を設けることにより、子どもの健全育成への意識が高く持てるようになると考えられる。参加者からは、19分館から大字4地区の懇談会へと移行したことに伴い、大字地区による広範囲にわたる視点による懇談会方式を取ることができたという声を寄せられたこともあり、今後においても、保護者から高齢者まで幅広い年齢層の参加による、魅力ある懇談会にしていく必要がある。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	今回の参加者の「過半数が大字別の開催がよい」「約3割が分館別がよい」「約2割が町内全体(1ヶ所)がよい」というアンケート結果が出ており、今後も引き続き、地区懇談会の開催方法について検討していく必要がある。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	開催方法を分館別、大字別、町全体と地域が大きくなると参加者が減少するのは避けられないと思う。魅力ある懇談会にしていくと言っても人集めは本当に難しい。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

令和元年度主な事業・取組の評価シート				主要施策	青少年健全育成		
事業名 ・ 取組名	あいさつ日本一運動をはじめとする 健全な社会環境づくり (青少年育成町民会議事業)			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	509	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							509

目 標	青少年が家庭や地域における人のつながりを大切にする心や人を思いやる心、命を大切にする心を持ち、心身ともに健全に育つよう、家庭・学校・地域・行政等の連携強化のもと、各種の健全育成活動を積極的に推進していく。
目的や内容	あいさつすることが人と人との関わり合いの始まりであり、コミュニケーションの始まりでもあることから、町民一人ひとりがあいさつの意識を上げ、地域の雰囲気向上を目指すために、あいさつ日本一運動に取り組む。 また地域の現状を知るために、町内青少年防犯巡回パトロール活動により、小売店等に出向いて有害図書や酒・たばこの取扱状況を把握し、青少年への対応をお願いするなど健全な社会環境づくりを進める。
実績等	小・中学校を中心に、校門で先生方や児童・生徒があいさつ運動をしたり、地域の方々が通学路で交通誘導及びあいさつ運動を行った。子どもたちは積極的にあいさつができています。 また、防犯パトロールや小売店への訪問を行ったが、指導が必要な子どもたちはいなかった。
成果と課題	子どもたちから大人の方へ積極的にあいさつをしている。パトロール中に指導が必要な子どもはなかった。 今後も、あいさつの意識の向上に向け継続していく必要がある。また、防犯パトロールは、子どもたちの集まりそうな場所や危険な場所等を大人が把握できる利点があり、引き続き実施する。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	地域・学校・行政が連携した青少年健全育成活動が概ね実施できた。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	不審者の出現等により、最近では、知らない人には挨拶の言葉をかけない傾向にある。防犯パトロールによって、子どもたちが集まりそうな場所や危険な場所を大人が把握でき青少年健全育成上、有効であると考えます。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	青少年健全育成		
事業名 ・ 取組名	地域の教育力の向上			所管課	生涯学習課		
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	447	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				280			167

目 標	青少年が家庭や地域における人のつながりを大切にする心や人を思いやる心、命を大切にすることをもち、心身ともに健全に育つよう、家庭・学校・地域・行政等の連携強化のもと、各種の健全育成活動を積極的に推進していく。
目的や内容	青少年が家庭や学校以外でも同世代の青少年や異年齢の人々と交流し、自主性や社会性を育てていくことができるよう、放課後子ども教室の開催及びPR活動の推進を図り、放課後や週末における青少年の居場所づくりを充実させる。地域の指導者により、放課後の小学生を対象にいろいろな体験・経験をさせる教室を開催する。
実績等	放課後子ども教室として、英会話・プログラミングを23回、延べ770名の児童の参加者があった。土曜日こどものひろばとして、和太鼓・パステルアートを13回、延べ197名の児童の参加者があった。夏休み及び冬休み子ども教室として、書道、プラ板アート、ペットボトルロケット、凧づくりなど5回、延べ41名の児童の参加者があった。
成果と課題	令和元年6月から新事業として、英会話及びプログラミングを内容とする放課後子ども教室を小学校において定期的に水曜日開催したことに伴い、参加者は延べ354名から1,008名と大幅に増加した。今後の放課後子ども教室も、子ども達の興味関心やニーズに基づき、より充実した事業内容を検討していく。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成 概ね達成 やや不十分 不十分	英会話とプログラミングを定期的に水曜日開催したことに伴い、参加者数を大幅に増やすことができた。前年度に比べて、事業内容は充実したととらえるが、多動など子ども達の多様な実態から指導者の増員や専門性の向上が求められる。

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成 概ね達成 やや不十分 不十分	新事業として、英会話とプログラミングを定期的に水曜日開催したことによって参加者が大幅に増加したことは評価できる。さらに、子どもたちの興味関心やニーズに基づき、より充実した事業内容を検討してほしい。

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	スポーツ施設の整備充実		
事業名 ・ 取組名	スポーツ施設の整備・運営			所管課	生涯学習課		
				費目	体育施設費		
事業費 (千円)	35,448	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						2,315	33,133

目標	近年、町民の健康・体力づくりに対する関心がますます高まる中、町民のスポーツニーズは増大・多様化の傾向にあるため、すべての町民がそれぞれの年齢や体力に応じたスポーツ活動を行うことができる環境づくりを進める。
目的や内容	中央公園や体育センターをはじめとする各スポーツ施設(プール・武道館・テニスコート等)について、老朽化への対応や利用促進に向けた施設・設備の建替も含めた検討を行い、改修等を計画的に進める。 また、管理運営体制の充実を図り、利用者数の増加に向け、利用者が利用しやすい環境整備を進める。
実績等	テニスコート夜間照明設備改修工事、中央公園ベンチ増設工事、体育センター手摺取付工事、体育センター管理人室空調機更新工事、町民プール外灯ポール撤去工事等、12,017千円の工事施工を行った。
成果と課題	施設の修理は、利用者の安全を最優先に考え修理を行うことができた。引き続き日頃の点検を継続的にを行い、早めに対応できるようにする必要がある。 利用者数を増やすために、平日の昼間の施設利用について利用者へ広報活動を強化することが必要である。 社会体育施設の劣化状況の把握や長寿命化に向けた個別施設計画を策定し、中長期的な維持管理を行う必要がある。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	計画どおりに修理できた部分は一定の評価ができるが、施設の老朽化が進み修理を必要とする部分がいくつか生じており、随時、安全管理の対応が必要である。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	町民が安全安心に、スポーツを通して楽しみながら体力・健康増進に利用できることを望む。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート				主要施策	スポーツ団体・指導者の育成			
事業名 ・ 取組名	スポーツ団体や総合型スポーツクラブへの支援			所管課	生涯学習課			
				費目	保健体育総務費			
事業費 (千円)	3,571	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							3,571	

目 標	近年、町民の健康・体力づくりに対する関心がますます高まる中、町民のスポーツニーズは増大・多様化の傾向にあるため、すべての町民がそれぞれの年齢や体力に応じたスポーツ活動を行うことができる環境づくりを進める。
目的や内容	<p>体育協会をはじめ自主的なスポーツ団体の育成・支援に努めるとともに、新たな指導者の発掘・活用に努め、町民の自主的なスポーツ活動の活発化を促進する。また、総合型スポーツクラブが自主運営組織として定着し、活発な活動が行われるよう、運営やクラブリーダーの育成について助言・支援を行う。</p> <p>町内の競技団体14種目775名の体育協会は、各種目競技団体への運営補助、県民スポーツ大会種目の選手の確保や出場手続き、町民体育大会の運営など、本町におけるスポーツ振興の中心的な組織として活動している。総合型スポーツクラブ「友遊スポーツかみみね」については、子どもから高齢者の方まで、多世代交流、心と体の健康、生きがいと青少年の健全育成を目指し週4日開催している。</p>
実績等	<p>「体育協会」については、各種目団体によるスポーツ大会の開催、県民スポーツ大会への出場調整、町民体育大会への役員参加など、スポーツ関係について、活発に活動した。令和元年11月には、体育協会創立50周年記念事業を行った。</p> <p>また、「友遊スポーツかみみね」についても、新型コロナウイルス感染症対策のため、年度末の教室は中止したものの、新規体験教室を増やしながらかみみね計画どおり週4回実施し、会員等参加者は前年度の150名から174名と増加して事業を行った。</p> <p>事業費の内訳としては、体育協会へは活動費899千円と県民スポーツ大会補助金1,163千円、「友遊スポーツかみみね」に対し1,509千円の補助を行った。</p>
成果と課題	「体育協会」については、各種目団体の連絡調整はうまくできているが、事務を行う人材の不足など運営の在り方を引き続き検討する必要がある。「友遊スポーツかみみね」については、健康づくりスポーツ事業の拡充に伴う地域住民間の交流ができている。今後も多様な活動を展開し、地域コミュニティの核としての役割が担えるように事業を検討していく必要がある。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	「体育協会」や「友遊スポーツかみみね」との連携を行い、スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなど地域スポーツの担い手としての役割を果たしていくための支援をしていく必要がある。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	生涯スポーツの観点から、年齢や体力に応じたスポーツ活動ができる環境づくりや支援活動を推進してほしい。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	文化芸術の鑑賞会と発表会の充実			
事業名 ・ 取組名	上峰町民文化祭 (上峰町文化協会事業)			所管課	生涯学習課			
				費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	837	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							837	

目標	文化協会等と連携し、町民文化祭の内容充実に努めるとともに、多様な文化・芸術を鑑賞する機会と活動成果を発表する機会の充実に努める。
目的や内容	文化協会の22サークルが日頃から活動していることの最大の発表の場が町民文化祭であり、各サークルの目標ともなっている。この文化祭をより盛り上げるために、幼稚園児・保育園児、小・中学生、和太鼓、よさこいなど文化協会以外にも町民参加型により、多くの町民が発表会や展示会に参加できる裾野が広い文化祭を目指す。
実績等	11月1日～3日の3日間で第34回町民文化祭を開催し、作品展示では絵画、写真、書道、生け花、編み物やアートフラワーなど約1,000点の作品の出展があった。演芸発表では、34演目で前年度同様延べ650名の方々が熱演し、来場者も前年度同様約2,000名であった。 綿密な事前打合せをはじめ、文化協会と連携した運営ができた。費用としては、文化協会への補助金338千円、文化祭パネル設置費用499千円であった。
成果と課題	文化活動の発表の場として、町民文化祭が賑やかに開催され、町民全体で元気と感動を分かち合う行事となっている。 文化協会の会員数が毎年減少しているのが現状で、新たな加入者をどうするか、また、新たな文化・芸術団体の発掘が課題である。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	発表会や展示会は計画どおりにできた。また、多数の出演者や展示出品者とともに、前年度同様多数の観覧者に来場していただいた。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	文化活動の発表の場として、町民文化祭が賑やかに開催できたことは大きな成果であると評価します。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	生涯学習関連の適正管理・利用促進			
事業名 ・ 取組名	ふるさと学館の充実			所管課	文化課			
				費目	ふるさと学館費			
事業費 (千円)	17,981	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
						22	17,959	

目 標	管理運営体制を拡充し、展示内容の充実や企画展・特別展の開催、学校教育との連携、各種歴史・文化講座・読み聞かせ講座の開催等を進め、本町の歴史・文化の研究拠点、情報発信拠点として機能の強化を図る。
目的や内容	町民のニーズに即した蔵書の充実 子どもの集いの場、生涯学習拠点として機能強化を図り、幅広い年齢層へのサービスの提供をし、利用者増を図る。
実績等	蔵書冊数は、平成27年度(55,782冊)・平成28年度(56,030冊)・平成29年度(56,643冊)・平成30年度(56,630冊)・令和元年度(56,938冊)と増加した。新書・リクエスト本を積極的に購入しており、貸出冊数(平成28年度42,750冊・29年度42,352冊・30年度40,985冊・令和元年度39,938冊)でまちづくりプランの平成33年度目標(貸出冊数40,000冊)を超えた数字となっている。しかし、利用者数(平成28年度8,763人・29年度8,325人・30年度7,801人・令和元年度7,212人)は、減少した数字となっており、まちづくりプランの平成33年度目標(図書館利用者数8,200人)を下回った。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書数は増やしているが、貸出冊数と利用者が減少している傾向をみて、県事業の子どもが本に親しむ環境づくり推進事業(読み聞かせ講座・読み聞かせスキルアップ講習会・読み聞かせノート配布等)への取り組みや町で読み聞かせ教室の開催をし、「家読」の促進を図る。 乳幼児健診時にブックスタートや読み聞かせ教室のPRを行って利用者増を図るとともに、小学校新1年生を対象にしたセカンドブック事業の企画をはじめ本を読む習慣と楽しみを子どもたちに広め、学校図書室や町立図書館の利用を促す。 各家庭での読書習慣の定着を図る。 団体利用登録の増加を目指す。 資料館展示機能継続のため代替施設等について検討を行う。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	購入冊数が増加し、目標蔵書数に達している。 蔵書数は、目標に達しているが、利用者は減少している。 「家読」を推進し、ブックスタート等活用し、幅広い年齢層へサービスを提供しなければならない。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	評価の理由
	達成	蔵書数は増加しているが、貸出冊数と利用者数の減少は、今後の課題だと思う。対策としての「家読」の促進は良いアイデアと思う。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

事業名・取組名				主要施策	文化財の保存・活用		
町内遺跡確認調査事業				所管課	文化課		
				費目	文化財保護費		
事業費 (千円)	4,612	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			2,140	770			1,702

目標	指定文化財の適正な保存及び維持管理に努めるとともに、その他の文化財や埋蔵文化財についても、調査体制の充実のもと、発掘調査等を推進し、その保存・活用を図る。
目的や内容	国庫補助事業の適用を受け、町内全域における開発行為に伴い事前の埋蔵文化財確認調査を実施。この調査により開発対象地区内の埋蔵文化財について概要を把握し、開発と埋蔵文化財保護との調整を図る。
実績等	開発届出等件数41件、うち確認調査実施件数24件であった。三上遺跡内における分譲宅地造成工事に伴う確認調査1件で遺構が検出された(受託事業【10-5-6】として本調査を実施した)。遺物の検出件数は0件であった。 また、平成30年度に実施した確認調査について整理作業を実施し、調査報告書を刊行した。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 三上遺跡内における分譲宅地造成工事に伴う確認調査において、遺物は出土しなかったが、古代から中世の集落跡と考えられるピット、土壌などの遺構が検出された。 今後の課題として、無届着工の開発について適正に対処する必要がある。 文化財保護法の規制外となる「周知の埋蔵文化財包蔵地」外の開発行為について、鳥栖・三神地区内で対応を協議し、一定の基準を整備する必要がある。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	開発に伴い、事前の埋蔵文化財確認調査を行い、文化財保護との調整を図った。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	文化財を将来にわたって適正に保存・活用するために、今後とも適切な調査・発掘を行ってほしい。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	文化財の保存・活用		
事業名 ・ 取組名	町内遺跡発掘調査事業			所管課	文化課		
				費目	町内遺跡発掘調査事業		
事業費 (千円)	1,002	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						1,000	2

目 標	町内における各種開発事業に伴い地下の埋蔵文化財に工事の影響が及ぶ範囲について、埋蔵文化財の記録保存を目的とした本調査を受託し、埋蔵文化財の保護に努める。
目的や内容	町内における各種開発事業に伴い埋蔵文化財確認調査を実施し、遺構や遺物が検出された場合、開発主体者の協力を仰ぎ、地下の埋蔵文化財に工事の影響が及ぶ範囲について、埋蔵文化財の記録保存を目的とした本調査を受託し、実施する。また、その成果は整理作業を行い調査報告書として刊行し保存、公開する。
実績等	三上遺跡内における民間の分譲宅地造成工事に先立つ埋蔵文化財確認調査において住居跡、土壌、その他柱穴などの遺構が検出されたことを受け、記録保存目的に埋蔵文化財本調査1件を受託した。 令和元年8月2日～9月13日。分譲宅地造成工に伴う側溝敷設工事、上下水道管路埋設工事等の影響が確認調査で検出された地下の埋蔵文化財に及ぶ宅地内の道路部分300㎡について受託事業費1,000千円で本調査を実施した。 現地での調査終了後、整理作業を実施し、調査報告書を刊行した。
成果と課題	調査の結果、奈良時代の土壌1基、その他柱穴等が検出され、土壌から奈良時代のものと思われる土師器、須恵器、土錘などが出土した。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	
	概ね達成	
	やや不十分 不十分	
		受託事業を完了することができた。

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	
	概ね達成	
	やや不十分 不十分	
		本町は吉野ヶ里遺跡に近いので、奈良時代以前の遺物が発見できたらと思う。

令和元年度主な事業・取組の評価シート

事業名・取組名				主要施策	文化財の保存・活用		
民俗芸能等伝統文化事業				所管課	文化課		
				費目	文化財保護費		
事業費(千円)	195	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							195

目標	米多浮立やみやき町西乃宮などの無形民俗芸能等伝統文化財について、保存団体の育成や支援、環境整備等を行う。
目的や内容	米多浮立やみやき町西乃宮などの無形民俗芸能等伝統文化財について、保存団体の育成を行い、積極的な保存及び伝承に努める。
実績等	<ul style="list-style-type: none"> 米多浮立保存会ライセンス使用料 127千円 米多浮立保存会へこれまで奉納経費等について、町補助金を交付してきたが、平成27年度よりこれまでの補助を休止し、「天衝米」の名称使用に伴い、ライセンス使用料を支払うこととした。 米多浮立奉納(10月26日お下り、27日お上り) みやき町西乃宮伝統文化保存会補助 68千円 10月20日、本分地区の担当で浮立が、碓・江迎・中村地区の担当で稚児舞が奉納された。
成果と課題	後継者不足で出演者が不足気味の状況である。特に、中高生をはじめ若手の後継者育成が急務である。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	保存団体の育成として、「天衝米」の名称使用に伴い、ライセンス使用料を支払っている。また、補助金によるみやき町西乃宮伝統文化保存の育成を行った。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	伝統文化継承の担い手育成のため、具体的な手立てを講じる必要がある。全国的に人手不足が叫ばれ、子どもが少ないのが大きな問題である。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

令和元年度主な事業・取組の評価シート

				主要施策	文化財の保存・活用		
事業名 ・ 取組名	町史編さん事業			所管課	文化課		
				費目	文化財保護費		
事業費 (千円)	10,708	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							10,708

目 標	本町の貴重な歴史・文化や風土を次世代に継承していくため、町史編さん作業に取り組み、新たな町史を刊行する。
目的や内容	代々先人たちが築きあげてきた伝統的・歴史的なものの多くが記録や保存されず失われていく前に、特に昭和54年村史編さん以降本町が歩んできた道程を詳細に調査するとともに資料の収集・保存を図り、歴史的特長をより鮮明にし、一般の方が平易に理解できるような『上峰町史』を発刊することで町への認識が一層深められ、今後のより良い町づくりに寄与することを目的とする。
実績等	編さん委員会及び編集部会(執筆委員会)合同会を2回、編集部会(執筆委員会)を4回開催し、年間予定(個別ヒアリング、原稿・コラム提出)確認、ページ配分・題字・扉絵・目次検討、調査収集方法、原稿作成について協議検討した。 なお、運営上の支援(会議資料、議事録作成等)、資料調査及び原稿作成の補助の業務委託をした。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 『上峰町史』執筆要領や目次を協議検討し、方針が確定した。 各委員の調査、資料収集を促し、原稿執筆がほぼ終わっているが、委員の原稿執筆後の編集・校正が課題となる。 現代分野での行政の協力が必至になる。

自己評価	評価の結果	評価の理由
	達成	『上峰町史』編さんに向け、編さん委員会で目次検討・年次計画・執筆要領を諮りながら、編さん部会(執筆委員会)で調査収集方法・原稿作成方法を審議した。現在は原稿の遅れは多少あるが、ほぼ計画通り進んでいる。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		

学識経験者 評価	評価の結果	意見・指摘事項
	達成	市町村合併により町村名がなくなりつつある今日、町史編さん事業は、上峰が発足から今日までの歩みを調査し、資料を収集・保存し、歴史的特徴を鮮明にすることであり、今後のより良い町づくりに寄与すると思う。
	概ね達成	
	やや不十分	
不十分		